



# 下野市

## だれもが輝く社会づくりに関する アンケート調査

— ご協力をお願い —

市民の皆様には、日頃より市政へのご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。ごぞいます。

本市では、「第二次下野市男女共同参画プラン」に基づき、お互いを理解し尊重する、心豊かな社会の実現を目指し、様々な男女共同参画施策を進めてきました。

現行プランの計画期間が令和2年度で終了することから、社会情勢に対応した、男女が共に支え合い、個性と能力を十分に発揮して輝きながら心豊かに暮らすことができる地域づくりを目指して、新たなプランの策定に取り組んで参ります。

そこで、第三次下野市男女共同参画プランの策定にあたり、現行プランの見直しと今後の施策に市民意識を反映させることを目的として、「だれもが輝く社会づくりに関するアンケート調査」を実施することにいたしました。

調査実施にあたっては、住民基本台帳から無作為に18歳以上の男女2,000人を選ばせていただきました。なお、回答は無記名とし、結果はすべて統計的に処理いたしますので、個人のお名前が明らかになることはありません。また、ご回答いただいたデータは、本調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和元年9月

下野市長 広瀬 寿雄

### ご記入にあたってのお願い

- 1 宛名のご本人がお答えください。
- 2 お答えは、あてはまる回答の番号を「○」で囲んでください。  
また、「その他」をお選びになった場合は、その後ろにある（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。
- 3 ご記入いただいたアンケートは、**令和元年10月10日(木)**までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。
- 4 この調査につきまして、ご不明な点等ございましたら下記へお問い合わせください。

調査に関するご質問、ご意見は…

下野市役所 総合政策部 市民協働推進課 協働推進グループ

電話：0285-32-8887（直通） FAX：0285-32-8606

まで、お問い合わせください。

## 1 あなたご自身やご家族のことについておたずねします

問1. あなたの自認する性別をお答えください。(当てはまる選択肢がない場合、より近い選択肢をお選びいただくか、次の設問にお進みください。)(○は1つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2. あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- |         |        |         |        |
|---------|--------|---------|--------|
| 1 20歳未満 | 2 20歳代 | 3 30歳代  | 4 40歳代 |
| 5 50歳代  | 6 60歳代 | 7 70歳以上 |        |

問3. あなたの家族構成についてお答えください。(○は1つ)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 ひとり暮らし(単身世帯) | 2 夫婦だけ(1世代世帯)    |
| 3 親と子ども(2世代世帯) | 4 親と子どもと孫(3世代世帯) |
| 5 その他( )       |                  |

問4. あなたは結婚していますか。(○は1つ)

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1 結婚している  | 2 結婚していたが、離別・死別した |
| 3 結婚していない |                   |

### 【問4で「1 結婚している」を選択した方】

問4-1. あなたの世帯は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |          |               |               |
|----------|---------------|---------------|
| 1 共働き    | 2 夫だけ仕事を持っている | 3 妻だけ仕事を持っている |
| 4 夫婦とも無職 | 5 その他( )      |               |

### 【問4-1で「1 共働き」「2 夫だけ仕事を持っている」「3 妻だけ仕事を持っている」を選択した方】

問4-2. 配偶者の職業は何ですか。(○は1つ)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1 勤め人(常勤)            | 2 自営業・家業    |
| 3 パート・アルバイト          | 4 派遣社員、契約社員 |
| 5 自由業(文筆業・開業医・司法書士等) | 6 内職        |
| 7 在宅ワーク              | 8 学生        |
| 9 専業主婦・主夫            | 10 無職       |
| 11 その他( )            |             |

### 【問4で「1 結婚している」または「2 結婚していたが、離別・死別した」を選択した方】

問5. あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。現在同居されていない方も含めてお答えください。(○は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 子どもがいる | 2 子どもはいない |
|----------|-----------|

**【問 5 で「1 子どもがいる」を選択した方】**

問 5-1. 一番下のお子さんは次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |                              |          |
|------------------------------|----------|
| 1 未就学児                       | 2 小学生    |
| 3 中学生・高校生・大学生（短大生、専修学校生等も含む） |          |
| 4 社会人                        | 5 その他（ ） |

**2 仕事についておたずねします**

問6. あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。(○は1つ)

- |           |            |                |
|-----------|------------|----------------|
| 1 仕事をしている | 2 仕事はしていない | ⇒問 6-8(5 ページ)へ |
|-----------|------------|----------------|

**【問 6 で「1 仕事をしている」を選択した方】**

問 6-1. あなたの職業は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1 勤め人（常勤）            | 2 自営業・家業    |
| 3 パート・アルバイト          | 4 派遣社員、契約社員 |
| 5 自由業（文筆業・開業医・司法書士等） | 6 内職        |
| 7 在宅ワーク              | 8 その他（ ）    |

**【問 6 で「1 仕事をしている」を選択した方】**

問 6-2. あなたの主な仕事場は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |        |              |        |
|--------|--------------|--------|
| 1 下野市内 | 2 栃木県内（下野市外） | 3 栃木県外 |
|--------|--------------|--------|

**【問 6 で「1 仕事をしている」を選択した方】**

問 6-3. あなたは、1週間でおよそ何時間くらい働いていますか。(残業時間も含まず。)(○は1つ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1 20 時間未満  | 2 20～29 時間 | 3 30～39 時間 |
| 4 40～49 時間 | 5 50～59 時間 | 6 60 時間以上  |

**【問 6 で「1 仕事をしている」を選択した方】**

問 6-4. あなたの昨年1年間の総収入(税込み)は、およそいくらでしたか。(○は1つ)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1 103 万円未満            | 2 103 万円以上 200 万円未満 |
| 3 200 万円以上 400 万円未満   | 4 400 万円以上 700 万円未満 |
| 5 700 万円以上 1,000 万円未満 | 6 1,000 万円以上        |

**【問 6 で「1 仕事をしている」を選択した方】**

問 6-5. あなたが現在働いているのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1 生計を維持するため	2 家計の足しにするため
3 借金の返済や将来に備えた貯蓄のため	4 自分で自由に使えるお金を得るため
5 生きがいを得るため	6 人のネットワークを広げるため
7 社会に貢献するため	8 働くのが当然であるため
9 家業であるため	10 その他 ( )
11 特に理由はない	

**【問 6-1 で「1 勤め人(常勤)」「3 パート・アルバイト」「4 派遣社員、契約社員」を選択した方】**

問 6-6. あなたの職場では、男女の扱いが平等になっていると思いますか。((ア)から(キ)それぞれ○は1つ)

項目	いる 優遇 男性 の方が されて	さ の 言 ど ち ら か と い る	て 平 等 に な っ て い る	さ の 言 ど ち ら か と い る	い る 優 遇 女 性 の 方 が さ れ て	わ か ら な い
(ア) 募集や採用	1	2	3	4	5	6
(イ) 職務内容	1	2	3	4	5	6
(ウ) 賃金	1	2	3	4	5	6
(エ) 上司との関係	1	2	3	4	5	6
(オ) 人事考課・評価	1	2	3	4	5	6
(カ) 昇進・昇格	1	2	3	4	5	6
(キ) 幹部職員への採用	1	2	3	4	5	6

**【問 6-1 で「3 パート・アルバイト」「4 派遣社員、契約社員」「6 内職」「7 在宅ワーク」を選択した方】**

問 6-7. あなたが、パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、内職、在宅ワークを選んだ主な理由は何ですか。  
(○は1つ)

1 自分の好きな時間に働くことができ、家庭との両立がしやすいため
2 残業等もなく、仕事の責任が軽くてすむため
3 家族等の同意を得やすいため
4 配偶者控除を受けることができる範囲に収入を抑えたいため
5 正社員で働きたかったが、就職先がなかったため
6 長く勤めるつもりがないため
7 その他 ( )

**【問 6 で「2 仕事はしていない」を選択した方】**

問 6-8. あなたが現在働いていないのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1 経済的に働く必要がないため	2 家事の負担が大きい
3 育児の負担が大きい	4 親や病気の家族の介護・世話をするため
5 家にいるのが当然であるため	6 配偶者等家族が就労を望まないため
7 希望の仕事が見つからないため	8 社会に出たくないため
9 時間的な余裕がないため	10 学生であるため
11 高齢であるため	12 その他 ( )
13 特に理由はない	

**【問 6 で「2 仕事はしていない」を選択した方】**

問 6-9. あなたは今後、収入を得る仕事につきたいと思いますか。(○は1つ)

1 ぜひ仕事につきたい	2 できれば、仕事につきたい
3 仕事につきたいとは思わない	4 わからない

**【ここからは、全員お答えください】**

問7. 一般的に、女性が仕事を持つことについて、あなたはどうお考えですか。(○は1つ)

1 結婚するまでは仕事を持つ方がよい
2 子どもができるまでは仕事を持つ方がよい
3 子どもができたなら仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
4 子どもができたならパート等に切り替える方がよい
5 子どもができてフルタイムで仕事を続ける方がよい
6 女性は仕事を持たない方がよい
7 その他 ( )

問8. あなたは、今までに育児休業・介護休業を取得しましたか。(①と②それぞれ○は1つ)

項 目	①育児休業	②介護休業
1 取得した・取得中である	1	1
2 制度はあるが、取得したことはない	2	2
3 制度がないため、取得できない	3	3
4 制度について知らなかったため、取得していない	4	4
5 休業取得に該当しない (子ども、介護が必要な親族はいない)	5	5
6 その他 ( )	6	6

**【問8の①または②で「2 制度はあるが、取得したことはない」を選択した方】**

問8-1. 育児休業・介護休業の制度を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1 経済的に生活が成り立たなくなるから     | 2 職場に休める雰囲気がないから   |
| 3 休みを取ると勤務評価に影響するから     | 4 解雇される不安があるから     |
| 5 自分の仕事は代わり的人がないから      | 6 一度休むと元の仕事に戻れないから |
| 7 現在取り組んでいる仕事を続けたいから    | 8 家族の理解が得られないから    |
| 9 家族の協力で、利用しなくても対応できるから | 10 その他 ( )         |

**【ここからは、全員お答えください】**

問9. 育児休業や介護休業を取得することについて、あなたはどうお考えですか。(○は1つ)

※現在取得する予定がない方も、将来取る必要が生じた場合としてお答えください。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 積極的に取りたい           | 2 どちらかという取りたい   |
| 3 どちらとも言えない          | 4 取りたいが取れる環境にない |
| 5 どちらかという取りたくない      | 6 取りたくない        |
| 7 仕事をしていないので、取る機会がない | 8 その他 ( )       |

問10. 女性が結婚・出産後も働き続けるため、また再就職するためにはどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 就職情報や紹介等の相談機関の充実       | 2 技能修得のための研修の機会や施設の充実 |
| 3 労働時間の短縮化、フレックスタイム制*の導入 | 4 保育施設や保育サービスの充実      |
| 5 育児休業・介護休業制度の徹底         | 6 高齢者や障がい者等の介護サービスの充実 |
| 7 家族の理解や協力               | 8 女性自身の働くことに対する自覚     |
| 9 勤め先の理解                 | 10 その他 ( )            |
| 11 必要なことはない              |                       |

\*フレックスタイム制: 1か月以内の一定期間(清算期間)における総労働時間をあらかじめ定めておき、労働者はその枠内で各日の始業及び終業の時刻を自主的に決定し働く制度です。

問11. あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

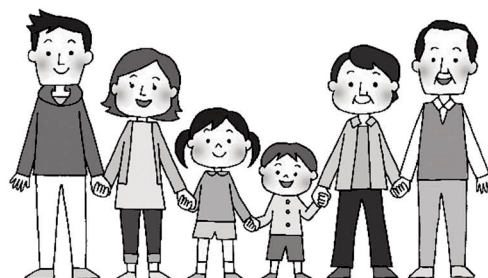
- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1 やりがいのある仕事ができる     | 2 賃金が上がる        |
| 3 能力が認められた結果である     | 4 家族から評価される     |
| 5 自分自身で決められる事柄が多くなる | 6 やるべき仕事が増える    |
| 7 責任が重くなる           | 8 ねたまれて足を引っ張られる |
| 9 仕事と家庭の両立が困難になる    | 10 その他 ( )      |
| 11 特にない             | 12 わからない        |

問12. あなたは、政治・経済・地域等の各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 現時点では、必要な知識や経験等を持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 5 企業等においては、管理職になると広域異動が増えること
- 6 保育・介護・家事等における夫等の家族の支援が十分ではないこと
- 7 保育・介護の支援等の公的サービスが十分ではないこと
- 8 その他 ( )
- 9 特にない
- 10 わからない

問13. あなたは、女性の活躍推進の取組に関する情報のうち、どの情報が特に必要になると感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等に関する情報(場所、保育料、利用料等)
- 2 介護・家事の支援サービスに関する情報(内容、利用方法等)
- 3 就職・再就職のための職業訓練に関する情報(利用方法、相談先等)
- 4 起業・NPO活動のための情報(支援内容、相談先等)
- 5 仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報(内容、利用方法等)
- 6 出産・育児等を経ながら就業を継続している女性のモデル事例に関する情報
- 7 積極的に家事・育児に参画する男性のモデル事例に関する情報
- 8 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進や、働き方の見直しの実践例に関する情報
- 9 その他 ( )
- 10 特にない
- 11 わからない



### 3 生活全般についておたずねします

問14. 家事（掃除・洗濯・食事の支度・食事の後片づけ等）は、どのように行うべきだと思いますか。理想をお答えください(①)。また、結婚をしている方のみ、実際にあなたの家庭において、主に誰が行っていますか(②)。(①と②それぞれ○は1つ)

項目	①理想 (全員)	②現状 (結婚している方のみ)
1 主に夫が行う	1	1
2 主に夫が行い、妻も一部手伝う	2	2
3 夫・妻が分け合って行う	3	3
4 主に妻が行い、夫も一部手伝う	4	4
5 主に妻が行う	5	5
6 どちらか気づいた方が行う	6	6
7 その他 ( )	7	7

問15. 問14の②で回答した、家庭での実際の役割分担の満足感についてお聞かせください。(○は1つ)

- |        |        |             |
|--------|--------|-------------|
| 1 大変満足 | 2 やや満足 | 3 どちらとも言えない |
| 4 やや不満 | 5 大変不満 |             |

問16. 生活の中での、仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、趣味・学習等）の優先度について、あてはまる①あなたの理想と②あなたの現状をお選びください。(①と②それぞれ○は1つ)

項目	①理想	②現状
1 「仕事」を優先	1	1
2 「家庭生活」を優先	2	2
3 「個人の生活」を優先	3	3
4 「仕事」と「家庭生活」を共に優先	4	4
5 「仕事」と「個人の生活」を共に優先	5	5
6 「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先	6	6
7 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先	7	7
8 わからない	8	8

問17. 今後、男性も女性も共に、家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことがもっとも重要だと思いますか。(○は1つ)

- |   |  |
|---|--|
| 1 労働時間の短縮や休暇制度の普及等により、仕事優先の考え方を見直す      |  |
| 2 夫婦間や家族間でコミュニケーションをとる                  |  |
| 3 男性が家事や育児等に関わることへの抵抗感をなくす              |  |
| 4 男性も女性も共に育児や介護、地域活動等を担うための地域のネットワークづくり |  |
| 5 生活と仕事の両立を応援する講座の開催                    |  |
| 6 家庭や地域での生活と仕事の両立の問題について相談できる窓口の設置      |  |
| 7 その他 ( )                               |  |
| 8 特に必要なことはない                            |  |



#### 4 地域・社会参加についておたずねします

問18. あなたは現在、次にあげるような地域活動に参加していますか。(○は1つ)

- 自治会等の地域活動
- 地域の仲間同士集まって行う研究会や勉強会
- 趣味やスポーツの活動
- 子ども会や青少年スポーツチームの指導や世話
- 保育園・幼稚園の保護者会、学校のPTA活動
- NPO活動（環境問題、消費者問題、リサイクル等）
- ボランティア活動（高齢者や障がい者の介護・介助、子育て、被災地での活動等を含む）

1 参加している

2 参加していない

#### 【問18で「1 参加している」を選択した方】

問18-1. あなたが参加している地域活動の現状について、あてはまるものをお選びください。(ア)から(カ)それぞれ○は1つ)

項目	主に男性	どちらかといえば男性	男女同しく	どちらかといえば女性	主に女性
(ア) 催し物の企画等を決定するのは？	1	2	3	4	5
(イ) 地域活動を取り仕切るのは？	1	2	3	4	5
(ウ) 集会等の時に、お茶くみや片づけをするのは？	1	2	3	4	5
(エ) 役職につくのは？	1	2	3	4	5
(オ) 主に活動を担っているのは？	1	2	3	4	5
(カ) 発言するのは？	1	2	3	4	5

問19. 今後、地域や職場、家庭において、女性が活躍できる環境を作るためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をお聞かせください。


問20. 地域活動に男性も女性も共に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 参加しやすい日時や場所
- 2 趣味や特技を生かした活動の場
- 3 地域活動グループの取組や地域で活動する人たちの広報・育成
- 4 労働時間の短縮やボランティア休暇等就労環境の整備についての企業に対する啓発
- 5 家族の理解、支援
- 6 その他 ( )

問21. 現在下野市で設置している審議会や委員会等の委員のうち、約30%が女性です。これについてあなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1 今のままでよい              | 2 もう少し女性が増えたほうがよい |
| 3 男女半々くらいまで女性が増えたほうがよい | 4 特に男女の比率にはこだわらない |
| 5 わからない                | 6 その他 ( )         |

## 5 老後・定年後についておたずねします

問22. あなた、もしくはあなたの周りで両親等家族の介護を理由に仕事を辞めたことがある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 自分(回答者自身)が辞めた | 2 家族が辞めた |
| 3 友人が辞めた        | 4 同僚が辞めた |
| 5 その他 ( )       | 6 いずれもない |

### 【問22で「1 自分(回答者自身)が辞めた」または「2 家族が辞めた」を選択した方】

問22-1. どのような理由から仕事を辞めましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1 介護休業制度がなかった          | 2 短時間勤務制度がなかった    |
| 3 急な休みが取りにくかった         | 4 勤め先の理解がなかった     |
| 5 家族の協力が得られなかった        | 6 配偶者が仕事を辞められなかった |
| 7 必要な介護保険サービスが受けられなかった | 8 体力的に両立できなかった    |
| 9 その他 ( )              |                   |

## 6 健康についておたずねします

問23. 性の自己決定権(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に基づいて、女性が妊娠、避妊、中絶に関して自分で決めたり、自分の健康を守るためにどのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)

\*性の自己決定権(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ):生涯自分らしく健康に生きるために、自分のからだや性に関することを自分で決める権利のこと。

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 子どもの成長と発育に応じた性教育と相談体制の充実      |
| 2 妊娠・出産についての情報提供、相談体制の充実        |
| 3 喫煙や薬物等の健康への害についての情報提供、相談体制の充実 |
| 4 性感染症等についての情報提供や相談体制の充実        |
| 5 更年期についての情報提供、相談体制の充実          |
| 6 わからない                         |
| 7 その他 ( )                       |

## 7 結婚・出産・教育についておたずねします

問24. 近年、女性が一生のうちに産む子どもの数が少なくなっていますが、その主な理由としてどのようなことがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもを取り巻く社会環境に不安をもっているから
- 2 子育てしながら働ける社会的なしくみが整っていないから
- 3 出産や育児に対する男性の理解や協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きいから
- 4 子どもは少なく産んで十分に手をかけて育てたいという人が増えたから
- 5 子どもをもつことよりも、自分自身の趣味や余暇等を大切にする人が増えたから
- 6 女性の高学歴化や社会進出によって結婚年齢が上昇したから
- 7 晩婚もしくは結婚しない人が増えたから
- 8 子育てに夢をもたない・もてない人が増えたから
- 9 子育てに周囲（家族、職場）の理解・協力が得られないから
- 10 育児や教育のための経済的負担が大きいから
- 11 その他（ )
- 12 わからない

問25. 日本では、若い世代で「未婚」「晩婚」が増えていると言われています。その理由はどんなことだと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 結婚の必要性を感じていないから         | 2 同棲でよいと思っているから       |
| 3 仕事（または学業）に打ち込みたいから      | 4 趣味や娯楽を楽しみたいから       |
| 5 独身の自由さや気楽さを失いたくないから     | 6 異性と知り合う（出会う）機会がないから |
| 7 希望の条件を満たす相手にめぐり合わないから   | 8 異性とうまくつき合えないから      |
| 9 経済的に余裕がないから             | 10 精神的に余裕がないから        |
| 11 結婚生活のための住居のめどがたたないから   | 12 親や周囲が結婚に同意しないから    |
| 13 一生、結婚するつもりはない人がいると思うから | 14 その他（ )             |
| 15 特にない                   | 16 わからない              |

問26. 男性も女性も共に輝く社会の形成のために行う教育の内容についてはどのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 一人の人間として男女を互いに認め合うことを教える人権教育
- 2 男女の生き方や役割についての固定的な発想や役割分担意識を見直す教育
- 3 男女の差別についての社会構造・制度や歴史についての認識を深める教育
- 4 男女の生理的なしくみに関する教育
- 5 性に関する正しい知識と自己管理についての教育
- 6 重要だと思うものはない
- 7 その他（ )

## 8 男女の人権についておたずねします

問27. あなたは次にあげる行為が、ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者や恋人等親密な関係にある(あった)パートナーからの暴力)にあたりと知っていますか。(ア)から(キ)それぞれ○は1つ)

項目	DVだと知っている	DVだと知らなかった
(ア) 殴る、蹴る、物を投げつける	1	2
(イ) 殴るそぶりや物を投げるそぶりをして脅す	1	2
(ウ) 「誰に食わせてもらっているんだ」などと言う	1	2
(エ) 避妊に協力しない	1	2
(オ) 生活費を渡さない	1	2
(カ) 働きに行かせない	1	2
(キ) 外出や電話・メール・SNS を細かくチェックする	1	2

問28. 次の1から6は、ドメスティック・バイオレンスについて無料で相談できる窓口です。あなたの知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 とちぎ男女共同参画センター相談ルーム	2 あなたの相談室(栃木県警察本部)
3 女性の人権ホットライン	4 下野市こども福祉課
5 下野市女性相談(DV)ホットライン	6 ウィメンズハウスとちぎ(認定NPO法人)
7 いずれも知らない	

問29. あなたは、ドメスティック・バイオレンスを経験したり、身近で見聞きたりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けたことがある
2 暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)をふるったことがある
3 身近に暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けた当事者がいる
4 身近な人から相談を受けたことがある
5 テレビや新聞等で問題になっていることは知っている
6 見聞きしたことはなく、初めて知った
7 その他( )

### 【問29で「1 暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けたことがある」を選択した方】

問29-1. あなたはドメスティック・バイオレンスを受けたとき、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は1つ)

1 相談した	2 相談しなかった
--------	-----------

### 【問29-1で「1 相談した」を選択した方】

問29-2. あなたは、ドメスティック・バイオレンスについて、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 とちぎ男女共同参画センター相談ルーム	2 あなたの相談室(栃木県警察本部)
3 女性の人権ホットライン	4 下野市こども福祉課
5 下野市女性相談(DV)ホットライン	6 ウィメンズハウスとちぎ(認定NPO法人)
7 医師やカウンセラー	8 家族や親せき
9 友人・知人	10 その他( )

**【問 29-1 で「1 相談した」を選択した方】**

問 29-3. あなたは、ドメスティック・バイオレンスについて、誰かに打ち明けたり相談したことにより、その問題は解決しましたか。(○は1つ)

- 1 問題は解決した
- 2 問題は解決しなかった
- 3 現在も相談中（シェルター等に一時保護中も含む）である
- 4 その他（ )

**【問 29-1 で「2 相談しなかった」を選択した方】**

問 29-4. あなたはドメスティック・バイオレンスを受けたとき、誰かに打ち明けたり相談したりしなかったのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 どこ（だれ）に相談してよいかわからなかった
- 2 公共の相談機関を知らなかった
- 3 恥ずかしくてだれにも言えなかった
- 4 相談しても無駄だと思った
- 5 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思った
- 6 子どもに危害が及ぶと思った
- 7 他人を巻き込みたくなかった
- 8 自分にも悪いところがあると思った
- 9 相談するほどのことではないと思った
- 10 その他（ )

問30. ドメスティック・バイオレンスを防ぐため、どのような取組がもっとも重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 被害者が援助を求めやすくするため、情報提供体制を充実させる
- 2 家庭・学校における人権やDVについての教育を充実させる
- 3 被害者が家庭内のことを打ち明けられる相談体制を整備する
- 4 加害者に対するカウンセリングやサポートを充実させる
- 5 被害から逃れるための一時保護施設を設ける
- 6 特に対応する必要はない
- 7 その他（ )
- 8 わからない

**9 男性も女性も共に輝く社会の形成についておたずねします**

問31. あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どうお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 賛成である
- 2 どちらかと言えば賛成である
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかと言えば反対である
- 5 反対である

問32. あなたは、次のような場で男女が平等になっていると思いますか。((ア)から(ク)それぞれ○は1つ)

項 目	男性の方が 優遇されている	どちらかといえば男性 の方が優遇されている	男女平等である	どちらかといえば女性 の方が優遇されている	女性の方が 優遇されている	わからない
(ア) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(エ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(オ) 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
(カ) 社会通念・慣習・しきたり等	1	2	3	4	5	6
(キ) 自治会活動等の地域活動の場	1	2	3	4	5	6
(ク) 社会全体	1	2	3	4	5	6

問33. あなたは、次の「事柄」や「言葉」を知っていますか。((ア)から(サ)それぞれ○は1つ)

項 目	よく知っている	多少は内容(中 身)を知ってい る	名称(言葉)は聞 いたことがある	全く知らない
(ア) 男女共同参画社会	1	2	3	4
(イ) 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
(ウ) 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
(エ) 女性活躍推進法	1	2	3	4
(オ) 女性差別撤廃条約	1	2	3	4
(カ) 育児・介護休業法	1	2	3	4
(キ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV防止法)	1	2	3	4
(ク) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3	4
(ケ) ジェンダー(社会的性別)	1	2	3	4
(コ) ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3	4
(サ) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康・権利)	1	2	3	4

問34. 市では平成 28 年に「だれもが輝く男女共同参画社会づくり条例」を制定し、男性も女性も共に輝く社会の実現を目指す事業の一環として、講演会の開催や情報紙の発行等を実施しています。以下の事業の①認知度と②利用等の状況についてお答えください。(①と②それぞれ〇は1つ)

項 目	①認知度		②利用等の状況	
	知っている	知らない	参加して(読んで)みたい	参加したい(読みたい)とは思わない
(ア) 男女共同参画講演会・映画会(年1回開催)	1	2	1	2
(イ) 男女共同参画情報紙シェアリング(年2回発行)	1	2	1	2
(ウ) 男女共同参画週間パネル展(年1回開催)	1	2	1	2
(エ) 広報しもつけへの掲載(男女共同参画に関するコーナー)	1	2	1	2
(オ) しもつけ女性活躍応援ハンドブック	1	2	1	2

問35. 市が実施する男性も女性も共に輝く社会づくりに関する事業で、あなたが参加してみたいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

- |  |
|--|
| 1 男性も女性も共に輝く社会づくりに関する映画上映会<br>2 教材等を用いた講習会(生き方、働き方、子育てについて等)<br>3 交流会(男性も女性も共に輝く社会づくりの考え方を学ぶための国際交流会等)<br>4 団体・企業等の男性も女性も共に輝く社会づくりに関する事例・取組等の発表会<br>5 技能や資格取得のためのプログラムの実施<br>6 起業セミナーや職業訓練等、女性の就業支援事業の開催<br>7 その他( )<br>8 参加したいものはない |
|--|

問36. 男性も女性も共に輝く社会をつくるため、今後、市(行政)はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- |  |
|--|
| 1 市の「だれもが輝く男女共同参画社会づくり条例」を周知し、具体的な実践目標を定める |
| 2 広報紙やパンフレット等で、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする      |
| 3 学校教育や社会教育の場で、男女の平等と相互の理解についての学習を充実させる    |
| 4 保育の施設等、子育て支援サービスを充実させる                   |
| 5 高齢者や病人の施設・サービスを充実させる                     |
| 6 ひとり親家庭への自立支援を徹底する                        |
| 7 ドメスティック・バイオレンス等に関する相談窓口や保護機関を設置する        |
| 8 職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底させる             |
| 9 審議会等の政策・方針決定過程に女性を積極的に登用する               |
| 10 リーダーの養成等女性の人材育成を推進する                    |
| 11 各国の女性との交流や情報提供等、国際交流を推進する               |
| 12 防災・復興分野において女性の活躍を推進する                   |
| 13 外国人への支援を充実させる                           |
| 14 LGBT等、性的少数者への支援を充実させる                   |
| 15 その他( )                                  |

◎男女共同参画に関して、現在取り組んでいることがありましたら、ご自由にお書きください。


◎男性も女性も共に輝く社会づくりに向けてのご意見や、男女共同参画について感じることがありましたら、ご自由にお書きください。


**質問は以上です。ご協力ありがとうございました。**

記入もれがないか、もう1度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに **10月10日(木)** までに郵便ポストに投函してください。